



地域創生×SDGsセミナー in 長崎  
地域の取組みが世界を変える  
2019年2月13日（水）@長崎県美術館ホール



# SDGs達成に向けた JICAの取組み

～地域の取組み、世界を変える～

独立行政法人 国際協力機構  
九州センター（JICA九州）

- 1. SDGsは先進国も含めた世界共通の目標（世界共通のモノサシ）。  
達成に向けて様々なアクターの取組みや連携が必要。**
- 2. JICAは日本国内の様々なアクターとの連携により、SDGs達成に  
貢献。途上国と国内地域双方が「Win-Win」となる活動を展開。**
- 3. 地域の取組みを通じて国内のSDGs達成に貢献。ひいては、途上国  
が抱える課題の解決、SDGs達成にも貢献！**



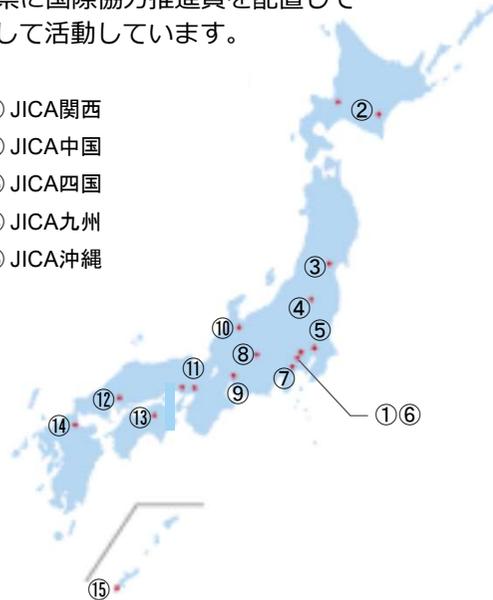
# 国際協力機構（JICA）とは

名称	独立行政法人国際協力機構 Japan International Cooperation Agency (JICA)
発足日	2003年10月1日 (2008年10月1日、独立行政法人国際協力機構が国際協力銀行の海外経済協力業務、及び外務省の無償資金協力事業の一部を承継)
設立根拠法	独立行政法人国際協力機構法（JICA法） (「独立行政法人国際協力機構法の一部を改正する法律」により改正されたもの。以下「JICA法」という。)
主務大臣	外務大臣及び財務大臣（但し、財務大臣は管理業務の内有償資金協力業務に係る財務及び会計に関する事項のみ)
代表者氏名	理事長 北岡伸一
常勤職員の数	1,864名（2016年4月1日時点）
本部連絡先	〒102-8012 東京都千代田区二番町5-25 二番町センタービル

## 国内拠点：15ヶ所

日本各地と途上国を繋ぐ拠点として、地域の方々の行う国際協力活動との連携、開発途上国からの研修員の受入、等幅広い活動をしています。また、下記15ヶ所のほかに各県に国際協力推進員を配置しており、「地域のJICA窓口」として活動しています。

- ① JICA地球ひろば
- ② JICA北海道（札幌・帯広）
- ③ JICA東北
- ④ JICA二本松
- ⑤ JICA筑波
- ⑥ JICA東京
- ⑦ JICA横浜
- ⑧ JICA駒ヶ根
- ⑨ JICA中部／なごや地球ひろば
- ⑩ JICA北陸
- ⑪ JICA関西
- ⑫ JICA中国
- ⑬ JICA四国
- ⑭ JICA九州
- ⑮ JICA沖縄



出所：JICA作成

## 海外拠点：96ヶ所

世界96ヶ所の拠点が窓口となり、各国のニーズにあった支援事業を展開しています。（地域別内訳：アジア23ヶ所、大洋州9ヶ所、北米・中南米24ヶ所、アフリカ27ヶ所、中東10ヶ所、欧州3ヶ所）



## 国際協力機構（JICA）とは

- ✓ JICAは、我が国の優れた人材・技術、資金を活用し、途上国の貧困削減等の解決に取り組む政府開発援助（ODA: Official Development Assistance）の実施機関。
- ✓ 技術協力、円借款、海外投融資、無償資金協力業務とともに、青年海外協力隊、シニア海外ボランティア、国際緊急援助隊の派遣も担う。
- ✓ ODAを通じたインフラ整備、政策制度整備を通じ、開発途上国の産業育成や貿易投資環境の改善にも貢献。



第四期中期計画でSDGs達成に向けた貢献を明記  
 SDGsに係るJICAの取組方針（ポジションペーパー）策定  
 国別分析や課題別指針、広報戦略等でSDGsを位置づけ  
 個別のODA事業でSDGs達成への貢献シナリオを明示

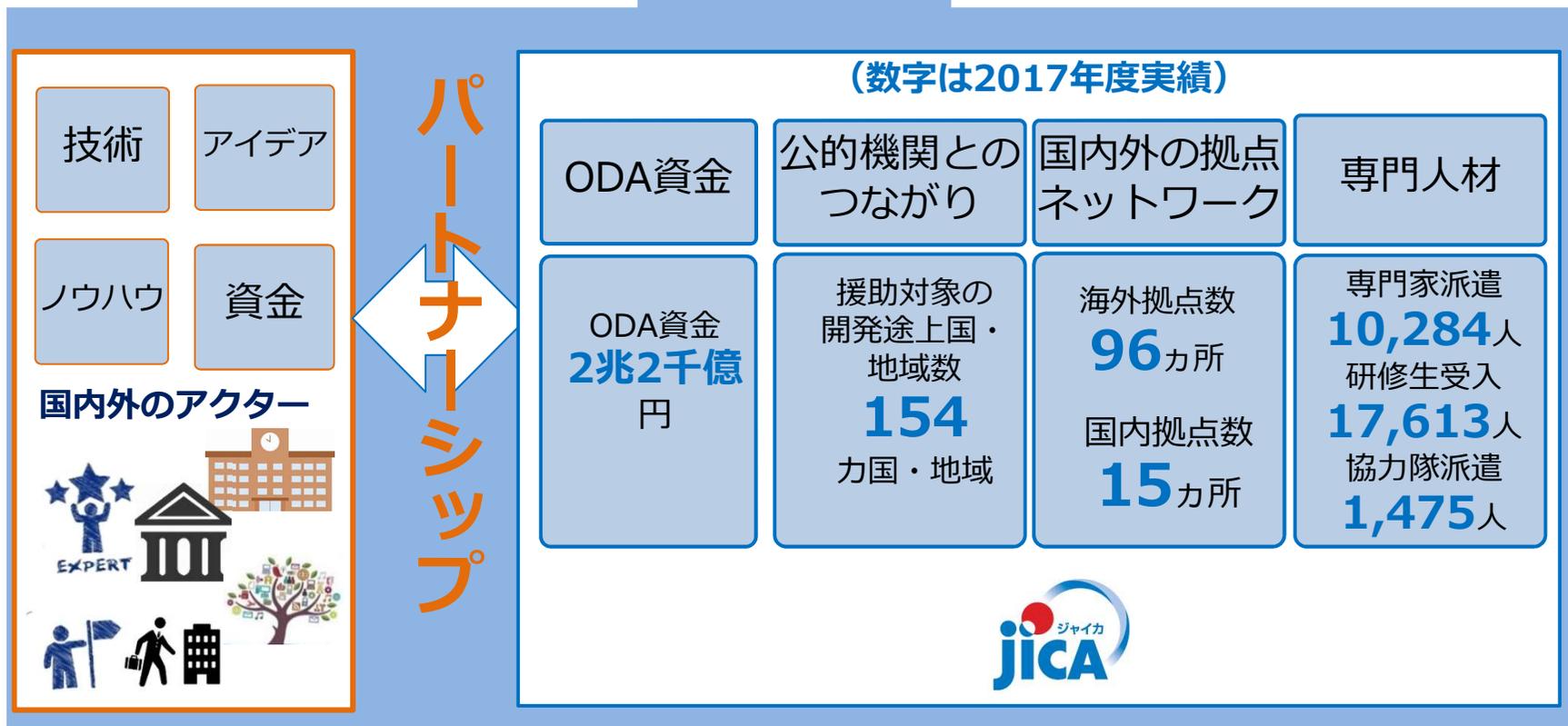


写真: 今村健志朗/JICA

# SDGs達成に向けたJICA協力3本柱

1	<p><b>人間の安全保障と質の高い成長</b>を加速・推進する。 SDGs達成に向けリーダーシップを発揮し、積極的に取り組む。</p>
2	<p><b>我が国自身と開発協力の経験を活かし、</b> SDGsの10のゴールについて中心的役割を果たす。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>2 飢餓をゼロに</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>3 すべての人に健康と福祉を</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>4 質の高い教育をみんなに</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>6 安全な水とトイレを世界中に</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>8 働きがいも経済成長も</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>11 住み続けられるまちづくりを</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>13 気候変動に具体的な対策を</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>15 陸の豊かさも守ろう</p>  </div> </div>
3	<p><b>国内の知見の活用、国内外のパートナーとの連携、イノベーションを図り、インパクトを確保する。</b></p>

# 国内外のパートナーとの連携



# 取組事例：母子手帳

- 5歳を迎える前に亡くなる子どもは約1,000万人/年
- **日本発祥の母子健康手帳は世界約40か国に広がる**
- JICAは約29か国に協力。母子健康手帳をもとに妊産婦への適切な情報提供や医療従事者の育成を実施



国内外の母子手帳。母子保健の知識を結集し、よりよい社会を目指す



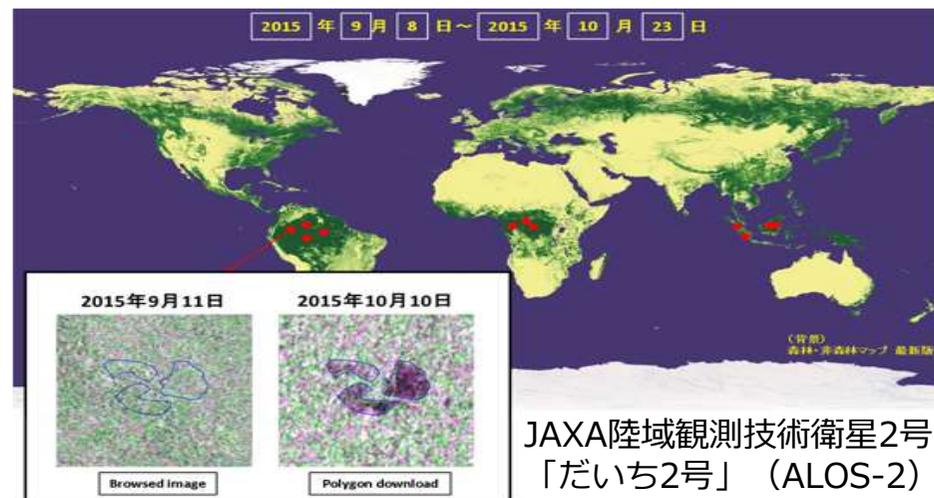
手帳を手に笑顔の母親たち



パレスチナ母子手帳電子版の画面

# 取組事例：森林保全／気候変動対策

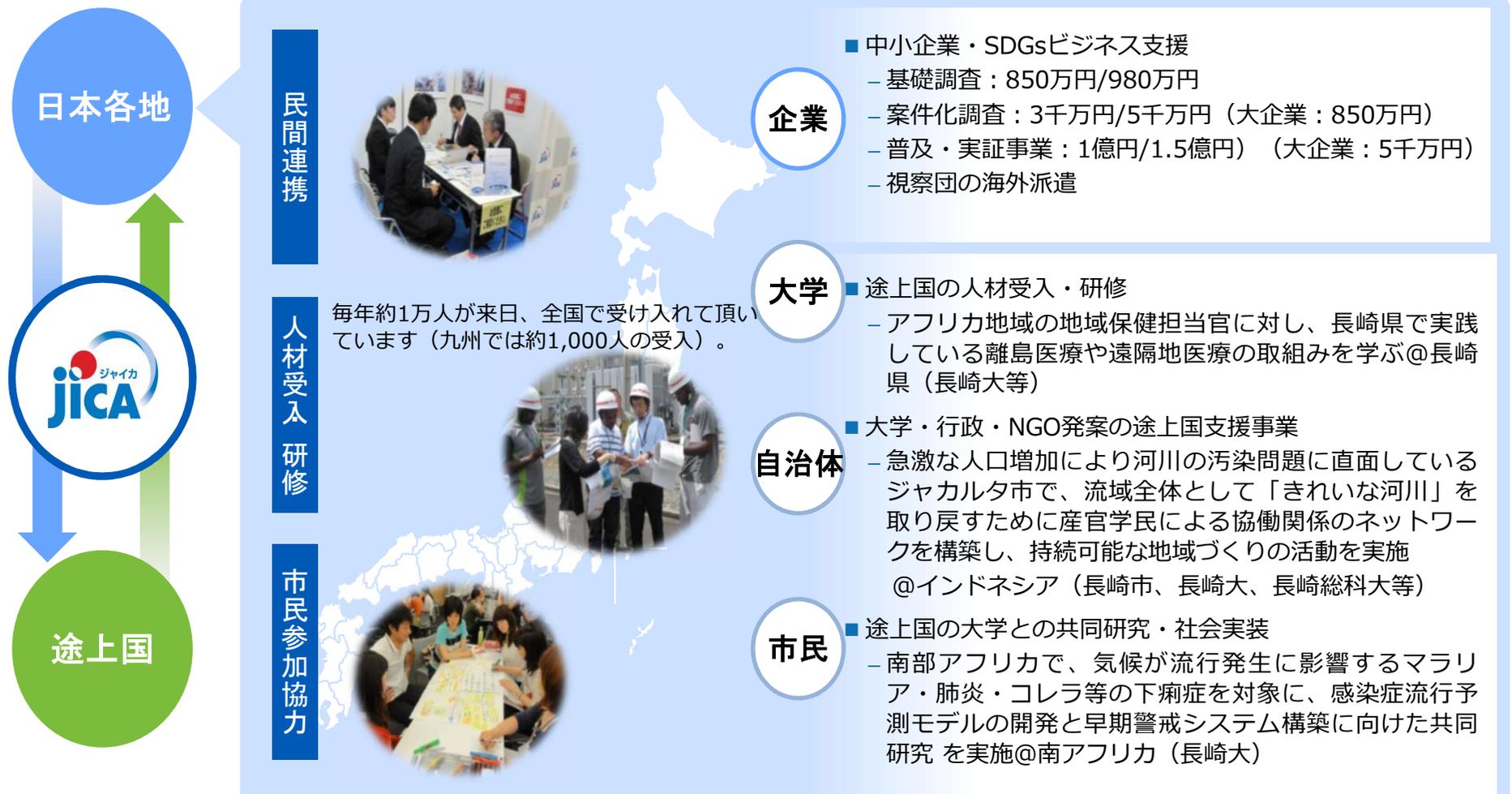
- 宇宙航空研究開発機構（JAXA）と連携し「JICA-JAXA熱帯林早期警戒システム（JJ-FAST）」を開発。衛星から届くデータを用いて、熱帯林の伐採・変化の状況の監視が可能に
- ブラジルで2000件の違法伐採を検知し、40%違法伐採面積削減へ貢献
- インターネットへのアクセスを通じ、地球全域の熱帯林伐採状況を、誰でも簡単に確認することができる



# 開発途上国と国内地域の結節点

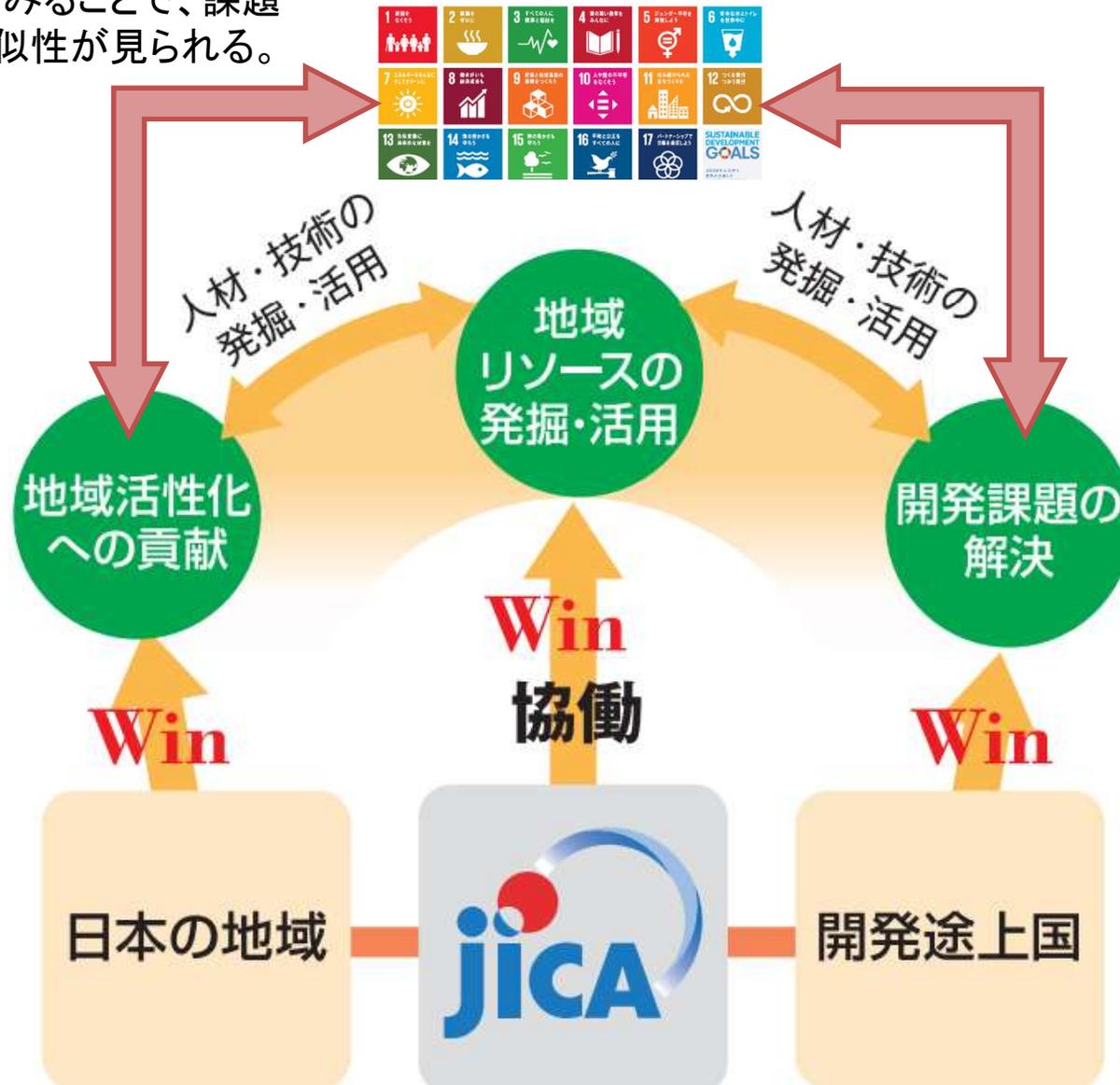
日本の企業・大学・行政・市民と途上国をつなぐ

- JICAは国内15拠点を窓口に、途上国と日本各地をつなぐ仕事をしています。



# 地域創生 × SDGs

SDGsを介してみることで、課題の共通性・類似性が見られる。





# JICA九州の取組事例

## ～SDGs理解向上、パートナーシップ強化～

### 「地域創生×SDGsセミナー」

- 九州各県において、SDGsの理解向上と連携・行動に繋げていくため、「産官学金民」より「地域創生×SDGs」の取組みを紹介。
- 2018年度：北九州市、熊本、長崎  
(北九州市で開催後、「北九州SDGsクラブ」が発足。)
- 2019年度：他4県での開催を検討中

17 パートナーシップで  
目標を達成しよう



北九州開催時に撮影した集合写真

**JICA** **JETRO**  
地域創生×SDGsセミナー 日本貿易振興機構(JETRO)

「地域の取組みが世界を変える～「産官学金民」のSDGs取組事例を中心に～」

日時 2018年12月5日(水) 13:30-17:30  
会場 くまもと県民交流館パレオ 会議室8(熊本県中央区手取本町8-9)  
対象 自治体、民間企業、市民、大学・研究機関、金融機関等  
主催 ジェトロ熊本、ジェトロ・アジア経済研究所、JICA九州 申込締切 11月30日(金)

「持続可能な開発目標(SDGs)」は、2015年9月に国連で採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の具体的な行動計画として示されました。SDGsでは「誰一人取り残さない」を理念に掲げ、日本を含む全ての国が対象となり、その達成には取組だけでなく、自治体の取組みや民間の技術・資金の活用が不可欠です。日本政府は国内地域でのSDGsの取組みが地域創生を推進するものと捉え、自治体、民間企業、市民社会、大学・研究機関等の多様な関係者とパートナーシップの下、地域が抱える課題解決に取り組んでいくことを力強くバックアップしています。

このような気運を捉え、今般、熊本県において、自治体、民間企業、市民、大学・研究機関、金融機関等を対象に、SDGsについて理解を深め、いかにSDGsを好機として捉えていくか、そのヒントを探ることを目的として、「産・官・学・民それぞれがそれぞれの立場からSDGsの取組みを推進するためのパートナーシップ」を構築し、世界的にも注目されるSDGsについて必要な情報を広く知る機会を設けたいと考えています。ご関心のある多くの自治体、民間企業、市民、大学・研究機関関係者の皆様のご参加をお待ちしております。

プログラム 開場: 13:15 定員 60名(先着順) 参加費 無料

13:30 【開会挨拶】及び【取組紹介】ジェトロ熊本 所長 奥泉和則  
13:45-14:50 【基調講演】「地域創生とSDGsについて」  
ジェトロ・アジア経済研究所 上席主任調査研究員 佐藤 寛  
【取組紹介】JICAにおけるSDGsの取組み JICA九州  
14:50-15:00 休憩  
15:00-17:00 【パネルディスカッション】  
「産」：自然と未来(株) 三宮 智子氏  
(株)日本リネナ(ナト) 熊本営業所 津田 美穂氏  
「官」：小国町政調課 審議員 日井 真治氏  
「学」：熊本県立大学 文学部教授 石村 秀登氏、環境共生学部教授 石橋 康弘氏  
「金」：肥後銀行 経営企画部 ワステナビリティ推進室 副室長 高田 寛治氏  
「民」：(一社) BRIDGE KUMAMOTO 代表理事 佐藤 かつあき氏  
モデレーター：ジェトロ・アジア経済研究所 上席主任調査研究員 佐藤 寛  
【質疑応答】  
17:00-17:05 【閉会挨拶】 JICA九州  
17:05-17:30 名刺交換会

後援機関 (予定) 熊本県、熊本市、小国町、熊本県立大学、九州経済産業局、九州地方ESD活動支援センター、熊本県商工会議所連合会、(一社)熊本県貿易協会、肥後銀行、日本政策金融公庫熊本支店、(一財)熊本中国際交流振興事業団

申込方法 ジェトロ熊本HPの「イベント情報」(以下URL)よりお申込みください。同、合わせ先：ジェトロ熊本(担当：友田、伊藤)  
TEL:096-354-4211 FAX:096-324-0753 E-mail:kum@jetro.go.jp  
<https://www.jetro.go.jp/in/en/japan/kumamoto/> (ジェトロ熊本HP)

熊本開催時のプログラム

## ケニア・健康な地域社会をつくる学童支援プロジェクト

協力期間：2012年～2017年

協力スキーム：草の根技術協力（パートナー型）

協力機関：長崎大学



- ・ケニアの保健政策の一つ「コミュニティヘルス戦略」の柱である学校保健の基盤構築に草の根レベルの活動で貢献。
- ・小学校の保健衛生環境や学童の健康・発育状態を改善するため、健康な地域社会づくりに向けた啓発活動を展開。



- 支) 中学校教員指導能力向上プロジェクト / カンボジア / 九州海外協力協会
- 支) ケニア国における廃棄物管理分野に関する人材育成及び改善プロジェクト / ケニア / 廃棄物管理アドバイザーネットワーク福岡
- 支) ポンペイ州における「減量・肥満予防プログラム」導入事業 / ミクロネシア / 福岡女子大学 臨床栄養学研究室
- ※支) フィリピン不法定住家族の人材育成 / フィリピン / 九州大学大学院芸術工学研究院

- 地) ヤンゴン市道路排水能力改善事業 / ミャンマー / 福岡市道路下水道局
- 地) ナンディ・ラウトカ地区における給水サービス強化事業 / フィジー / 福岡市水道局
- 地) バンコク都における介護予防推進プロジェクト / タイ / 福岡県(麻生教育サービス、アジア・エイジング・ビジネスセンター)

- パ) ブータン王国ティンブー市における廃棄物適正管理に関する技術移転事業 / ブータン / 福岡県(一財)日本環境衛生センター
- 地) タイにおける廃棄物適正処理工程構築支援 / タイ / 福岡県((一財)日本環境衛生センター)

- パ) 母子の「最初の1000日」に配慮したコミュニティ栄養改善プロジェクト / マラウイ / 社会医療法人 雪の聖母会 / (特活) ISAPH

- 支) アンザン省における農地の土壌改良と農民所得向上支援パイロットプロジェクト / ベトナム / 佐賀大学農学部

- ※支) マレーシアにおける漁村活性化モデルの構築と推進 / マレーシア / 国立大学法人鹿児島大学

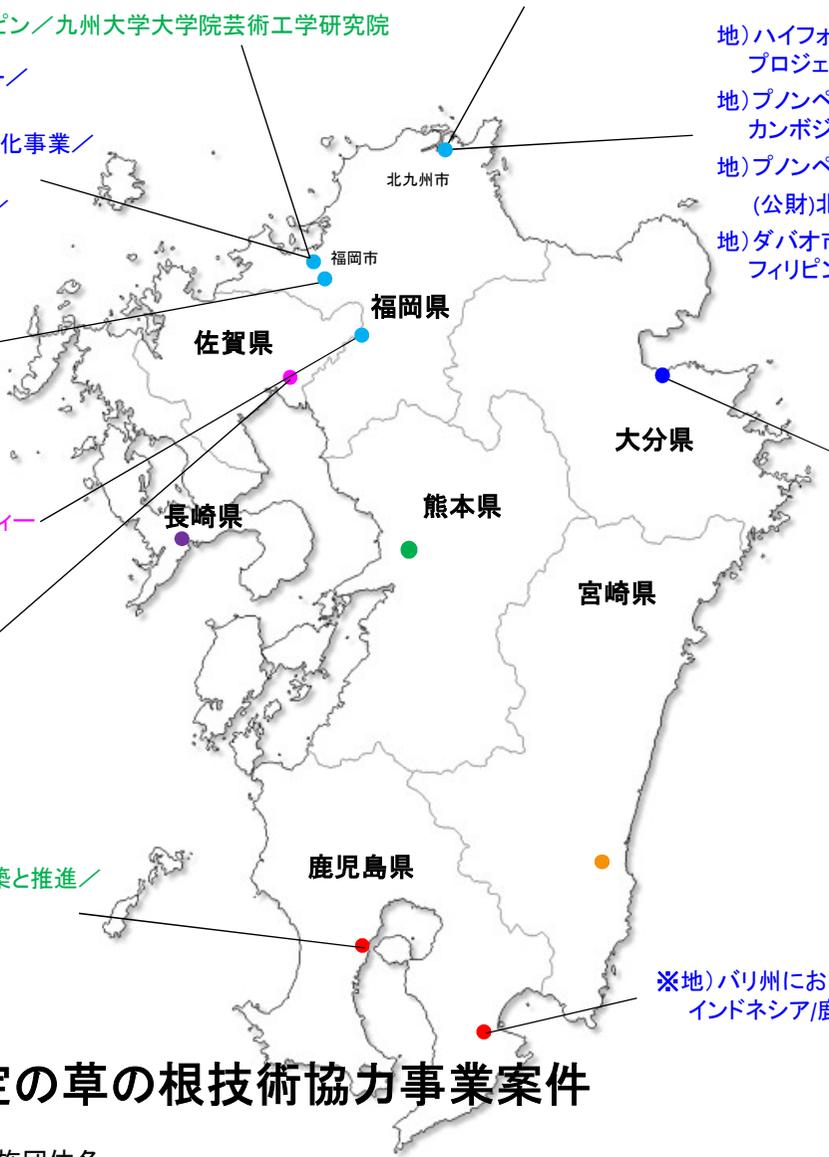
- パ) 北スマトラ州デリ川流域の環境教育強化と技術指導による水環境改善事業 / インドネシア / 北九州市立大学

- パ) プノンペン都の産業人材育成体制の構築 / カンボジア / 北九州市立大学
- 支) ハイフォン市への組織連携訓練マネジメント手法導入による防災体制改善プロジェクト / ベトナム / 公立大学法人北九州市立大学 環境技術研究所 災害対策技術研究センター

- 地) ハイフォン市下水処理場運転管理・浸水対応能力向上プロジェクト / ベトナム / 北九州市上下水道局
- 地) プノンペン都下水・排水施設管理能力向上プロジェクト / カンボジア / 北九州市上下水道局
- 地) プノンペン都廃棄物管理改善事業 / カンボジア / (公財)北九州国際技術協力協会
- 地) ダバオ市における廃棄物管理向上支援プロジェクト / フィリピン / 北九州市(北九州市環境整備協会)

- 支) ケニア国における医療検査診断技術向上プロジェクト / ケニア / (一財)共生の会

- ※地) バリ州における大崎システム技術移転プロジェクト / インドネシア / 鹿児島県大崎町



## 九州で実施中・実施予定の草の根技術協力事業案件

※印・採択済・開始前

パートナー型・支援型 / 案件名 / 国名 / 実施団体名

地域提案型・地域経済活性化特別枠・地域活性化特別枠 / 案件名 / 国名 / 提案団体名(実施団体名)

2019年1月28日時点(採択内定含む)

## 途上国のニーズと民間企業の製品・技術のマッチングを支援



# 中小企業・SDGsビジネス支援事業

現地で基礎的な  
情報を収集したい

ビジネスモデルを  
策定したい

ビジネス活動計画を  
実証・策定したい

海外でのビジネス化

## 中小企業・SDGsビジネス支援事業

### 基礎調査

途上国の課題解決に貢献し  
得るビジネスモデルの検討  
に必要な基礎情報の収集。  
(1年程度)

### 案件化調査

途上国の課題解決に貢献し  
得る技術・製品・ノウハウ  
等を活用したビジネスアイ  
デアやODA事業での活用可  
能性の検討、ビジネスモデ  
ルの策定。  
(数か月～1年程度)

### 普及・実証・ビジネス化事業

途上国の課題解決に貢献し  
得るビジネスの事業化に向  
けて、技術・製品・ノウハ  
ウ等の実証活動を含むビジ  
ネスモデルの検証、提案製  
品等への理解の促進、事業  
計画案の策定。  
(1～3年程度)

原則  
中小・中堅  
企業

中小企業  
支援型

中小企業支援型  
(850万円、980万円)

中小企業支援型  
(3千万円、5千万円)

中小企業支援型  
(1億円、1.5億円)

原則  
大企業

SDGs  
ビジネス  
支援型

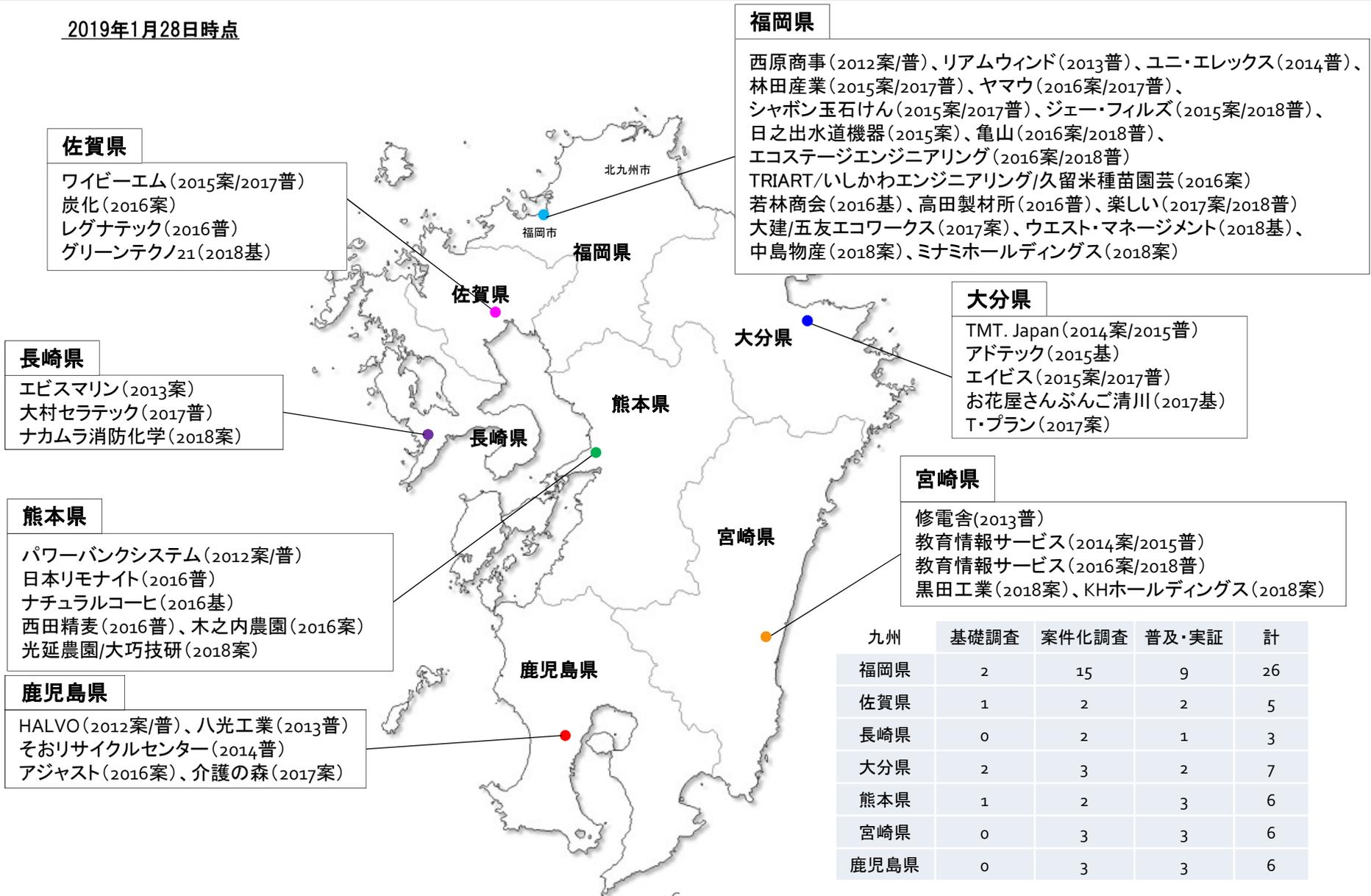
なし

SDGsビジネス支援型  
(850万円)

SDGsビジネス支援型  
(5千万円)

# 九州7県採択実績（中小企業支援型）

2019年1月28日時点



# 洪水対策に資する透水性インターロッキングブロック(ILB)舗装の普及・実証事業 大村セラテック株式会社(長崎県)

カンボジア王国



## カ国の開発ニーズ

- 市内の排水が適切に行われず、降雨時に路面に水が溜まりやすい状況が常態化。
- 適切でタイムリーな道路維持管理が施されず、非効率な事業実施体制。
- 水道管・光ファイバー・下水管・洪水対策の排水敷設などの計画が更新、実行されるたびに舗装を打ち直しており、歩車道におけるライフサイクルコストを度外視。

## 普及・実証事業の内容

- カ国の現地生産製品を用い、安価な透水性ILB舗装を総合的(排水処理を含めた)に普及・実証。
- 降雨時の透水性、遮熱性、価格面を調査し、他社同等製品との比較をし、有効性を実証。
- ILB舗装設計・施工要領を作成し、カ国の標準舗装になる実証。
- 景観に配慮した歩車道空間を創出し、交通管理面や交通安全への寄与を実証。
- ILB舗装による施工コスト・メンテナンスコストをコンクリート舗装並びにアスファルト舗装と比較検討。
- 歩車道の工事に対する敷き直しコストを含めたライフサイクルコストを検証し、ライフサイクルコストによる都市内の舗装計画を普及。

## 提案企業の技術・製品



製品・技術名  
— 透水・遮熱性ILB舗装

### — 利点 —

- ・透水性に富み、平坦性が保たれ、歩車道の安全性を担保出来る。
- ・締固め効果により耐久性に優れている。
- ・ブロックのリユースが可能であり、維持・補修が容易である。
- ・地域の景観性にマッチしている。
- ・施工後即開放が可能である。
- ・人力施工なため、CO<sub>2</sub>の排出量が少なく、雇用も促進できる。

### 事業概要

相手国実施機関: プノンペン都・シムリアップ市DPWT  
事業期間: 2018年6月から2020年4月  
事業サイト: プノンペン都・シムリアップ市

## カ国側に見込まれる成果

- 透水・遮熱性ILBにより、降雨時も安全かつ景観に優れた歩車道空間を提供。
- 再利用可能なブロック舗装のため、新しい都市計画の際の道路敷設コストの削減。
- コンクリート舗装よりも安価に施工ができ、また維持管理が容易。

## 提案企業の事業展開(成果)

### 現状

- 現地法人設立
- カ国内での工場竣工
- ILB舗装のセミナー実施

### 今後

- 市内の歩車道施工・維持管理事業への参画
- 国道の施工・維持管理事業への参画
- 工業団地、都市開発ディベロッパーへの販売加速

# その他事例：途上国人材育成×地域創生

- 宮崎とバングラデシュの課題と強みを結び付け、日バの幅広い協力関係に発展

## 【概要】

◆バングラデシュは縫製品輸出依存から脱却するため、「デジタル・バングラデシュ」政策を掲げ優れたIT技術者の育成に取り組み中。

◆青年海外協力隊員の活動を契機に、JICAは2012年から情報処理技術者試験(ITEE)の導入を支援。

◆教育情報サービス(宮崎市)は、動画製作ソフト「ThinkBoard」を活用したeラーニングを開発し、教育の標準化に注力。JICA中小企業海外展開支援を通じて、バングラのITEEの対策教材開発並びに合格率向上・IT人材育成に取り組み中。

<https://www.jica.go.jp/kyushu/topics/2017/ku57pq00000gy81a.html>  
<https://www.jica.go.jp/kyushu/press/ku57pq000005ga61-att/ku57pq00000djo17.pdf>  
<https://www.jica.go.jp/kyushu/topics/2017/ku57pq00000hiv4a-att/ku57pq00000hiv6c.pdf>  
<https://www.facebook.com/jicapr/posts/1555180354518106>



バングラデシュ情報処理技術者試験成績優秀者 在日バ大使を招いた宮崎大学でのシンポジウム

◆JICAはダッカに「ICTアカデミー」を設置し、高度外国人材を起爆剤として地方創生を目指す宮崎市、宮崎大学、市内IT企業と連携し、日本のIT企業で働くために必要な日本語、日本のビジネスマナー等3か月間の研修を2018年から開始。3年間で300名を育成予定。第一期生20名の枠に1,800人以上が応募。

# その他の取組：JICA債×SDGs

- 調達した資金は有償資金協力を通じ途上国開発事業に充当。
- JICA 債は**日本政府のSDGs実施指針の具体的施策の1つ**。
- 発行実績は10年間で45回以上（総額5,750億円）。
- 日本初の「ソーシャルボンド」。



## まとめ（再掲）

1. **SDGsは先進国も含めた世界共通の目標（世界共通のモノサシ）。**  
**達成に向けて様々なアクターの取組みや連携が必要。**
2. **JICAは「触媒」機能として、様々なアクターとの連携により、**  
**SDGs達成に貢献。途上国と国内地域双方が「Win-Win」となる**  
**活動を展開。**
3. **地域での取組みが日本のSDGs達成に貢献。そして、途上国が抱え**  
**る課題の解決やSDGs達成にも貢献していく！**



# JICAのホームページ

今日ご紹介したJICAの各種事業やSDGsの取組みに関する情報が閲覧できます。

## ◆ JICA トップページ (<http://www.jica.go.jp/>)



## ◆ JICAのSDGs達成に向けた取組み



クリック

## ◆ JICA九州 トップページ (<https://www.jica.go.jp/kyushu/index.html/>)



クリック

## ◆ JICA九州フェイスブックページぜひ、「いいね!」してください!



## ◆ JICA九州のSDGsの取組み

### 九州SDGs通信

- 九州工通信として、JICA九州における環境への取り組みについて、様々な活動やイベントをお伝えしてきましたが、工通信を改め「九州SDGs通信」として、九州圏内におけるSDGsに関する活動などを発信していきたいと思っております。
- 九州SDGs通信2018年12月号【地域創生×SDGsセミナー】in 熊本を開催しました！(2018年12月11日)
  - 九州SDGs通信2018年11月号「ごみ処理問題の解決に向けて」(2018年11月27日)
  - 九州SDGs通信2018年10月号「2018年度 北九州市上下水道コース研修」が実施されました。(2018年10月16日)
  - 九州SDGs通信2018年8月号 北九州で「地域創生×SDGsセミナー」を開催！(2018年8月7日)
  - 九州SDGs通信2018年7月号 九州SDGs通信、始まります！

- マルチメディア映像教材「SDGs達成に向けたJICAの取り組み」  
[http://JICA-net-library.JICA.go.jp/ja2/topics/topics\\_180402.html](http://JICA-net-library.JICA.go.jp/ja2/topics/topics_180402.html)
- 関西SDGsプラットフォームサイト  
<http://kansai-sdgs-platform.jp/>
- JAPAN SDGs Action Platform（外務省サイト）  
<https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/index.html>

お気軽にお問い合わせください！

## 独立行政法人国際協力機構 九州センター（JICA九州）

### 市民参加協力課 山下、野路

〒805-8505 福岡県北九州市八幡東区平野2-2-1

TEL: 093-671-8204 FAX: 093-671-0979

Email: Noji.Toshio2@jica.go.jp

URL: <http://www.jica.go.jp/kyushu/>



## JICAデスク長崎（茂田国際協力推進員）

〒850-0862 長崎市出島町2-11 出島交流会館1階

TEL: 095-823-3931 FAX: 095-822-1551

Email: jicadpd-desk-nagasaki@jica.go.jp

HP: <http://www.nia.or.jp/>